

簡易な収入(所得)見込額の申立書 【家計急変者】

○「東根市住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金(家計急変世帯分)申請書」と一緒にご提出ください。

① 下記にチェック(☑)してください。

私の世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

② 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した者全てについて記入してください。

	(フリガナ) 氏名	左欄の者が 扶養する者 の数 ①	令和3年 度住民税 課税状況 ②	障害者控除等 の適用 ③	任意の1か月 で申し立てる 場合、その年 月 ④	任意の1か月の収入⑤			年間収入 見込額 D×12 ⑥	非課税相当 収入限度額 ⑦
						給与収入 【A】	事業収入又は 不動産収入 【B】	年金収入 【C】		
1		人	☐課税 ☐非課税 ☐未申告	☐障害者控除 ☐寡婦(夫)控除 ☐ひとり親控除	令和 年	収入合計額 A+B+C=【D】			円	円
	月				円	円	円			
2		人	☐課税 ☐非課税 ☐未申告	☐障害者控除 ☐寡婦(夫)控除 ☐ひとり親控除	令和 年	収入合計額 A+B+C=【D】			円	円
	月				円	円	円			
3		人	☐課税 ☐非課税 ☐未申告	☐障害者控除 ☐寡婦(夫)控除 ☐ひとり親控除	令和 年	収入合計額 A+B+C=【D】			円	円
	月				円	円	円			
4		人	☐課税 ☐非課税 ☐未申告	☐障害者控除 ☐寡婦(夫)控除 ☐ひとり親控除	令和 年	収入合計額 A+B+C=【D】			円	円
	月				円	円	円			
5		人	☐課税 ☐非課税 ☐未申告	☐障害者控除 ☐寡婦(夫)控除 ☐ひとり親控除	令和 年	収入合計額 A+B+C=【D】			円	円
	月				円	円	円			

(記入上の注意)

- ① 「左欄の者が扶養する者の数」欄には、同居・別居にかかわらず、左欄の者が扶養している親族の数を記入して下さい。(扶養控除等申告書で届け出ている人数)
- ② 「令和3年度住民税課税状況」欄には、該当する項目にチェック☑してください。
- ③ 「障害者控除等の適用」欄は、該当する控除を受けている場合には、チェック☑してください。
- ④ 「任意の1か月で申し立てる年月」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和3年1月以降の任意の1か月の年月を記入してください。
- ⑤ 「任意の1か月の収入」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和3年1月以降の任意の1か月の収入を記入してください。

給与収入	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は 不動産収入	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金収入	※公的年金収入(非課税除く)がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。

- ⑥ 「年間収入見込額」欄には、D欄(収入合計額)を12倍した金額を記入してください。
- ⑦ 「非課税相当収入限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当収入限度額を記入してください。

〈早見表〉

扶養している親族の状況	非課税相当収入(給与収入の場合)
単身又は扶養親族がない場合	930,000円以下
配偶者・扶養親族(計1名)を 扶養している場合	1,380,000円以下
配偶者・扶養親族(計2名)を 扶養している場合	1,684,000円未満
配偶者・扶養親族(計3名)を 扶養している場合	2,104,000円未満
配偶者・扶養親族(計4名)を 扶養している場合	2,504,000円未満
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	2,044,000円未満

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

③ 年間所得により申し立てる場合、申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した全ての者について記入してください。

	(フリガナ)	【収入】 年間収入 見込額 ⑥	【控除】			【所得見込】 年間所得 見込額 ⑪	【非課税相当額】 非課税所得 限度額 ⑫
	氏名		給与所得 控除額 ⑧	事業収入等 の経費 ⑨	公的年金等 控除 ⑩		
1		円	円	円	円	円	
2		円	円	円	円	円	
3		円	円	円	円	円	
4		円	円	円	円	円	
5		円	円	円	円	円	

(記入上の注意)

⑥「年間収入見込額」欄には、表面の年間収入見込額(⑥欄)の額を転記して下さい。

⑧「給与所得控除額」・⑩「公的年金等控除」欄には、以下の算定式により控除額を計算の上、ご記入ください。

給与所得の控除額

給与収入金額の合計額(A)	給与所得控除額
～1,618,999円	550,000円
1,619,000円～1,619,999円	(A) - 1,069,000円
1,620,000円～1,621,999円	(A) - 1,070,000円
1,622,000円～1,623,999円	(A) - 1,072,000円
1,624,000円～1,627,999円	(A) - 1,074,000円
1,628,000円～1,799,999円	(A) × 40% - 100,000円
1,800,000円～3,599,999円	(A) × 30% + 80,000円
3,600,000円～6,590,000円	(A) × 20% + 440,000円

公的年金等控除額(年金等雑所得以外の合計所得金額が1,000万円未満の場合)

65歳未満の人	
公的年金等の収入合計額(B)	公的年金等控除額
130万円以下	600,000円
130万円超～410万円未以下	(B) × 25% + 275,000円
410万円超～770万円未以下	(B) × 15% + 685,000円
770万円超～1,000万円未以下	(B) × 5% + 1,455,000円
1,000万円超	(B) - 1,955,000円
65歳以上の人	
330万円以下	1,100,000円
330万円超～410万円以下	(B) × 25% + 275,000円
410万円超～770万円以下	(B) × 15% + 685,000円
770万円超～1,000万円以下	(B) × 5% + 1,455,000円
1,000万円超	(B) - 1,955,000円

⑨「事業収入等の経費」

- ①事業収入又は不動産収入を記入した方は、当該収入のために要した経費の12か月相当額をご記入ください
- ②帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。

⑪「年間所得見込額」の欄には、以下の算定式により計算の上、ご記入ください。

⑤年間所得見込額 = ⑥年間収入見込額 - (⑧給与所得控除額 + ⑨事業収入等の経費 + ⑩公的年金等控除)

⑫「非課税所得限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当所得限度額を記入してください。

※限度額は下の早見表から、①欄の「左欄の者が扶養する者の数」に応じた状況に対応する欄の金額を記入してください。

※下表の「扶養している親族の状況」は、「申請者本人」「同一生計配偶者(所得金額48万円以下の者)」「扶養親族(16歳未満の者も含む)」の合計人数です。

〈早見表〉

扶養している親族の状況	非課税相当所得限度額
単身又は扶養親族がない場合	380,000円
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	830,000円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	1,110,000円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	1,390,000円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	1,670,000円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	1,350,000円

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

簡易な収入(所得)見込額の申立書 【家計急変者】

記入例

○「東根市住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金(家計急変世帯分)申請書」と一緒にご提出ください。

① 下記にチェック(☑)してください。
 私の世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

② 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した者全てについて記入してください。

	(フリガナ) 氏名	左欄の者が 扶養する者 の数 ①	令和3年 度住民税 課税状況 ②	障害者控除等 の適用 ③	任意の1か 月で申し 立てる場 合、その 年月 ④	任意の1か月の収入⑤			年間収入 見込額 D×12 ⑥	非課税相当 収入限度額 ⑦
						給与収入 【A】	事業収入又 は 不動産収入 【B】	年金収入 【C】		
1	○○ ○○	1 人	<input checked="" type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 3年	収入合計額 A+B+C=【D】 100,000 円			1,200,000 円	1,380,000 円
	8月				100,000 円	0 円	0 円			
2	○○ ○○	0 人	<input type="checkbox"/> 課税 <input checked="" type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 3年	収入合計額 A+B+C=【D】 0 円			0 円	0 円
	8月				0 円	0 円	0 円			
3	○○ ○○	人	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年	収入合計額 A+B+C=【D】 円			円	円
1	○○ ○○	0 人	<input checked="" type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 3年	収入合計額 A+B+C=【D】 140,000 円			1,680,000 円	1,380,000 円
	10月				円	140,000 円	円			
2	○○ ○○	人	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年	収入合計額 A+B+C=【D】 円			円	円

- (記入上の注意)
- 「左欄の者が扶養する者の数」欄には、同居・別居にかかわらず、左欄の者が扶養している親族の数を記入して下さい。(扶養控除等申告書で届け出ている人数)
 - 「令和3年度住民税課税状況」欄には、該当する項目にチェック☑してください。
 - 「障害者控除等の適用」欄は、該当する控除を受けている場合には、チェック☑してください。
 - 「任意の1か月で申し立てる年月」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和3年1月以降の任意の1か月の年月を記入してください。
 - 「任意の1か月の収入」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和3年1月以降の任意の1か月の収入を記入してください。

給与収入	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与と明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は 不動産収入	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金収入	※公的年金収入(非課税除く)がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。

- 「年間収入見込額」欄には、D欄(収入合計額)を12倍した金額を記入してください。
- 「非課税相当収入限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当収入限度額を記入してください。
(早見表)

扶養している親族の状況	非課税相当収入(給与収入の場合)
単身又は扶養親族がいない場合	930,000円以下
配偶者・扶養親族(計1名)を扶養している場合	1,380,000円以下
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	1,684,000円未満
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	2,104,000円未満
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	2,504,000円未満
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	2,044,000円未満

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

③ 年間所得により申し立てる場合、申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した全ての者について記入してください。

	【フリガナ】	【収入】 年間収入 見込額 ⑥	【控除】			【所得見込】 年間所得 見込額 ⑪	【非課税相当額】 非課税所得 限度額 ⑫
	氏名		給与所得 控除額 ⑧	事業収入等 の経費 ⑨	公的年金等 控除 ⑩		
1		円	円	円	円	円	
2		円	円	円	円	円	
3	記載例①（収入で申請する場合、本欄の記入は不要）						
		円	円	円	円	円	
4	〇〇 〇〇	1,680,000		900,000		780,000	830,000
	〇〇 〇〇	円	円	円	円	円	円
5	記載例②（所得で申請）						
		円	円	円	円	円	

(記入上の注意)

- ⑥「年間収入見込額」欄には、表面の年間収入見込額（⑥欄）の額を転記して下さい。
 ⑧「給与所得控除額」・⑩「公的年金等控除」欄には、以下の算定式により控除額を計算の上、ご記入ください。

給与所得の控除額

給与収入金額の合計額 (A)	給与所得控除額
～ 1,618,999円	550,000円
1,619,000円～1,619,999円	(A) - 1,069,000円
1,620,000円～1,621,999円	(A) - 1,070,000円
1,622,000円～1,623,999円	(A) - 1,072,000円
1,624,000円～1,627,999円	(A) - 1,074,000円
1,628,000円～1,799,999円	(A) × 40% - 100,000円
1,800,000円～3,599,999円	(A) × 30% + 80,000円
3,600,000円～6,590,000円	(A) × 20% + 440,000円

公的年金等控除額(年金等雑所得以外の合計所得金額が1,000万円未満の場合)

65歳未満の人	
公的年金等の収入合計額 (B)	公的年金等控除額
130万円以下	600,000円
130万円超～410万円未満	(B) × 25% + 275,000円
410万円超～770万円未満	(B) × 15% + 685,000円
770万円超～1,000万円未満	(B) × 5% + 1,455,000円
1,000万円超	(B) - 1,955,000円
65歳以上の人	
330万円以下	1,100,000円
330万円超～410万円未満	(B) × 25% + 275,000円
410万円超～770万円未満	(B) × 15% + 685,000円
770万円超～1,000万円未満	(B) × 5% + 1,455,000円
1,000万円超	(B) - 1,955,000円

⑨「事業収入等の経費」

- ①事業収入又は不動産収入を記入した方は、当該収入のために要した経費の12か月相当額をご記入ください
 ②帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。

⑪「年間所得見込額」の欄には、以下の算定式により計算の上、ご記入ください。

$$\text{⑤年間所得見込額} = \text{⑥年間収入見込額} - (\text{⑧給与所得控除額} + \text{⑨事業収入等の経費} + \text{⑩公的年金等控除})$$

⑫「非課税所得限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当所得限度額を記入してください。

※限度額は下の早見表から、①欄の「左欄の者が扶養する者の数」に応じた状況に対応する欄の金額を記入してください。

※下表の「扶養している親族の状況」は、「申請者本人」「同一生計配偶者(所得金額48万円以下の者)」「扶養親族(16歳未満の者も含)(早見表)

扶養している親族の状況	非課税相当所得限度額
単身又は扶養親族がない場合	380,000円
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	830,000円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	1,110,000円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	1,390,000円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	1,670,000円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	1,350,000円

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

記入要領の例

様式第3号別紙

簡易な収入(所得)見込額の申立書 【家計急変者】

記入例

【1】収入の減少がコロナウイルス感染症の影響である場合✓を記入して下さい。収入の減少がコロナウイルス感染症の影響ではない場合、本給付金の対象とはなりません。

【2】申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した全ての方の状況を記載して下さい。

【3】この方が扶養する人数を(扶養控除等申告書等に記載の人数)を記載し、【4】下表から、この人数に対応する区分の非課税相当収入限度額を確認し、【5】この額を⑦欄に記入して下さい。
【6】非課税相当額収入限度額(⑦欄)と年間収入見込額(⑥欄)を比較して、⑥欄のほうが低ければ支給対象(2枚目は記載不要)

【7】記載例②の場合、非課税相当額収入限度額(⑦欄)と年間収入見込額(⑥欄)を比較して、⑥欄のほうが高いため、所得による申請(2枚目を記入)

① 「東根市住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金(家計急変世帯分)申請書」と一緒にご提出ください。

① 下記にチェック(✓)してください。

私の世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

② 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した者全てについて記入してください。

氏名	左欄の者が扶養する者の数	令和3年度住民税課税状況	障害者控除等の適用	任意の1か月で申し立てる場合、その年月	任意の1か月の収入⑤			年間収入見込額 D×12	非課税相当収入限度額
					給与収入	事業収入又は不動産収入	年金収入		
(フリガナ)					[A]	[B]	[C]	[5]	[7]
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 3年 8月	収入合計額 A+B+C= [D] 100,000 円	0 円	0 円	1,200,000 円	1,380,000 円
2	0	<input type="checkbox"/> 課税 <input checked="" type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 3年 8月	収入合計額 A+B+C= [D] 0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
記載例①(収入で申請)									
3	0	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 3年 10月	収入合計額 A+B+C= [D] 140,000 円	140,000 円	0 円	1,680,000 円	1,380,000 円
記載例②(所得で申請)									
2	0	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年 月	収入合計額 A+B+C= [D] 円	円	円	円	円

(記入上の注意)

- 「左欄の者が扶養する者の数」欄には、同居・別居にかかわらず、左欄の者が扶養している親族の数を記入して下さい。(扶養控除等申告書で届け出ている人数)
- 「令和3年度住民税課税状況」欄には、該当する項目にチェック✓してください。
- 「障害者控除等の適用」欄は、該当する控除を受けている場合には、チェック✓してください。
- 「任意の1か月で申し立てる年月」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和3年1月以降の任意の1か月の年月を記入してください。
- 「任意の1か月の収入」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和3年1月以降の任意の1か月の収入を記入してください。

給与収入	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は不動産収入	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金収入	※公的年金収入(非課税除く)がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。

- 「年間収入見込額」欄には、D欄(収入合計額)を12倍した金額を記入してください。
- 「非課税相当収入限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当収入限度額を記入してください。(早見表)

扶養している親族の状況	非課税相当収入(給与収入の場合)
単身又は扶養親族がない場合	930,000円以下
配偶者・扶養親族(計1名)を扶養している場合	1,380,000円以下
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	1,684,000円未満
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	2,104,000円未満
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	2,504,000円未満
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	2,044,000円未満

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

【4】

③ 年間所得により申し立てる場合、申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した全ての者について記入してください。

【1】収入により申請する場合は記入不要

【8】⑦欄の年間収入見込額を転記してください

【9】各欄に該当する控除額を記入して下さい

【10】下表の非課税限度額早見表から、扶養人数に応じて、該当する金額を記入してください。

【11】年間所得見込額を計算してください
 年間所得見込額＝
 収入額－(⑧給与所得控除額＋⑨事業収入等の経費＋⑩公的年金控除)

⑪の額が⑫の額を下回れば支給対象となります

	(フリガナ) 氏名	【収入】	【控除】			【所得見込】	【非課税所得限度額】
		年間収入見込額 ⑥	給与所得控除額 ⑧	事業収入等の経費 ⑨	公的年金等控除 ⑩	年間所得見込額 ⑪	非課税所得限度額 ⑫
1	【－】	円	円	円	円	円	円
2		円	円	円	円	円	円
3		円	円	円	円	円	円
4		1,680,000		900,000		780,000	830,000
5		円	円	円	円	円	円

(記入上の注意)
 ⑥「年間収入見込額」欄には、表面の年間収入見込額(⑥欄)の額を転記して下さい。
 ⑧「給与所得控除額」・⑩「公的年金等控除」欄には、以下の算定式により控除額を計算の上、ご記入ください。

〈早見表〉

扶養している親族の状況	非課税相当所得限度額
単身又は扶養親族がない場合	380,000円
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	830,000円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	1,110,000円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	1,390,000円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	1,670,000円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	1,350,000円

【10】